

名作文庫通信

2022年 秋号



秋季特集

ノーベル賞作家 戦争と平和と文学

戦争で戦った作家たち、戦争と戦った作家たち

Ernest Hemingway 武器よさらば



【武器よさらば】

ヘミングウェイ/著 高見浩/訳 新潮文庫/刊

ヘミングウェイは積極的に戦争に参加している。第一次世界大戦で、イタリア軍の傷病兵の輸送要員となり、爆撃で重傷を負う。この体験から、『武器よさらば』が生まれた。スペイン内乱では、共和国軍に資金を援助し、記録映画の制作に携わった。第二次世界大戦では、私有船を改装し、ドイツの潜水艦を探索した。『老人と海』（1952年）が高く評価され、1954年にノーベル賞を受賞した。



【ゴドーを待ちながら】

サミュエル・ベケット/著 安堂信也 高橋康也/訳 白水uブックス/刊

二人の男がゴドーという人物を待ち続ける。ただそれだけの戯曲だ。ゴドーが神の寓意であり、この作品は、神が存在しない、不条理な世界に生きる人間の悲惨を描いていると、受け取ることもできる。現代演劇に多大な影響を与えた作品だ。ベケットが創作活動にとりこんでいたパリが、ナチスに占領されると、情報支援要員としてレジスタンスに参加した。1969年、ノーベル賞に選ばれるが、騒ぎを嫌って、雲隠れし、式典にも出席しなかった。

「名作文庫」とは？

下井草図書館では文学、哲学、思想、歴史などの名著名作を文庫版・新書版で集め、「名作文庫」としてご紹介しています。



今月の1冊 心の旅を描く物語

シッダルタ

ハッセ/著
手塚富雄/訳



シッダルタは字
詞と修行を積み
置業に専ら進め
た。だが、
その心は
一瞬として満たされ
ることはなかった。
やがて自覚に満ちたシッダルタだったが……。東
洋思想研究と詩心が結実した本書を、記者である手塚富雄は、
「ハッセの『ツアラトウストラ』であり『ファウスト』である」と絶賛してい
る。第一次世界大戦が勃発すると、ハッセは、新聞に「おお友よ、その
響きではない！」と題する短文を発表し、戦争に熱狂する人々に「理
解は怒りより高く、平和は戦争よりも高貴である」と訴えた。1946年
にノーベル文学賞を受賞している。



赤 435-6
岩波文庫

【シッダルタ】

ハッセ/著 手塚富雄/訳 岩波文庫/刊

東洋思想研究と詩心が結実した本書を、記者である手塚富雄は、「ハッセの『ツアラトウストラ』であり『ファウスト』である」と絶賛している。第一次世界大戦が勃発すると、ハッセは、新聞に「おお友よ、その響きではない！」と題する短文を発表し、戦争に熱狂する人々に「理解は怒りより高く、平和は戦争よりも高貴である」と訴えた。1946年にノーベル文学賞を受賞している。

新着本 新しく入った本のご紹介

大塩平八郎

北一 著



戦の乱れに苦しむ女性
を描写した『薩長戦争
の戦時』、戦場の渦中
にいる人物たちの断片
を描く『大塩平
八郎』、武士の切腹を
主題とする『塀事件』。
森鷗外の筆の生気を伝
える『宛先不明』。歴史
史料に拠って描かれた
歴史小説4篇を、詳細な
注を付した。(注釈・序説・索引あり)



緑 6-12
岩波文庫

【大塩平八郎】

森鷗外/著 岩波文庫/刊

動乱の渦中にいる人物たちの葛藤を織り込んだ表題作、武士の切腹を主題とする「塀事件」…。歴史史料に拠りつつ同時代の思潮に反応して、簡潔明晰な文体で描かれた森鷗外の歴史小説4篇を、詳細な注を付して収録する。(TRC MARKより)



川端康成
古都

KAWAKAMI YASUNARI
THE OLD CAPITAL

【古都】

川端康成/著 新潮文庫/刊

京都の呉服問屋の娘である千重子は、幼馴染の大学生・真一にある秘密を明かすが、真一は本気にしなかった。やがて夏の祇園祭の夜、千重子は自分とそっくりな娘と出会う。運命の歯車が回り始めた…。(TRC MARKより)

編集後記

ハッセの写真を見ると、ドイツ文学の教授を思い出す。風貌が似ているのだ。威厳があり、学生に恐れられていた。たいへんな酒豪で、のみなながら、文学や、旧制高等学校時代の話をしてくれた。酔うと、シューベルトの歌曲や寮歌を歌われた。私は、この教授に、青春の息吹を吹きこまれた。

発行：杉並区立下井草図書館

杉並区下井草3-26-5

